

標準委員会 第42回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日時 2019年2月25日(月) 13:30~15:20

2. 場所 5東洋海事ビル D会議室

3. 出席者(敬称略)

(出席委員) 萩原部会長, 堺幹事, 石川, 伊藤, 北島, 木藤, 坂本, 田中(健), 田中(正), 日比, 宮坂, 吉田(12名)

(代理委員) 中村京春(三菱総合研究所/松本委員代理)(1名)

(欠席委員) 張, 佐田, 平野, 増田(4名)

(委員候補) 石川 颯一(東京大学), 山本 祥司(日本原電)(2名)

(説明者) 【シミュレーションの信頼性分科会】中田主査, 田中(正)幹事, 【基盤応用・廃炉技術専門部会】堺幹事(延べ3名)

(事務局) 中越, 田老, 牧野(3名)

4. 配付資料

ATC42-0 議事次第

ATC42-1 前回議事録(案)

ATC42-2 人事について

ATC42-3(1) 「シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン:2015(AESJ-SC-A008:2015)(本文)」英訳版の発行について

ATC42-3(2) 技術レポート「Reference Translation of AESJ Standard Guide for the Assessment of Nuclear Simulation Credibility: 2015」(案)

ATC42-4 分科会の活動状況について

ATC42-5 標準委員会の標準策定5カ年計画の更新について

ATC42-6 基盤応用・廃炉技術専門部会倫理教育実施状況

ATC42-7 アンケートの集計状況(最終報告)

ATC42-8 アンケート結果の分析, 評価結果まとめ(基盤応用・廃炉技術専門部会)

参考資料

ATC42-参考1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿

ATC42-参考2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員17名中, 代理委員を含め13名の出席があり, 委員会成立に必要な委員数(12名以上)を満足している旨, 報告があった。

(1) 前回議事録の確認(ATC42-1)

前回議事録(案)について配付された内容で承認された。

(2) 人事について(ATC42-2)

事務局からATC42-2に基づき, 専門部会及び分科会の人事について下記の提案があり, 専門部会委員の退任等が確認され, 審議の結果, 専門部会委員の選任等が決議された。さらに, 萩原部会長より標準委員会専門部会運営規則に従い石川委員を副部会長に指名する旨の報告があった。

【専門部会】

- 1) 委員退任の確認
岡本 孝司（東京大学）
佐々木 学（日本原子力発電）
- 2) 委員選任の決議
石川 顕一（東京大学）
山本 祥司（日本原子力発電）
- 3) 委員再任の決議
なし
- 4) 常時参加者登録解除の確認
なし
- 5) 常時参加者登録承認の決議
なし
- 6) 副部会長の指名
石川 顕一（東京大学）

【分科会】

- 1) 委員退任の確認
【シミュレーションの信頼性分科会】
田中 伸厚（茨城大学）
- 2) 委員選任の承認決議
【シミュレーションの信頼性分科会】
李 艶栄（茨城大学）
- 3) 委員所属変更の確認
なし
- 4) 常時参加者登録解除の確認
なし
- 5) 常時参加者登録承認の確認
【シミュレーションの信頼性分科会】
大岡 靖典（原子燃料工業）

(3) 報告・審議

- 1) 【報告・審議】技術レポート「Reference Translation of AESJ Standard Guide for the Assessment of Nuclear Simulation Credibility: 2015」（AESJ-SC-A008:2015（本文）の英訳版）の発行について（ATC42-3(1), 3(2)）
（担当：シミュレーションの信頼性分科会 田中(正)幹事）
シミュレーションの信頼性分科会 中田主査, 田中(正)幹事からATC42-3(1), 3(2)に基づき、題記の発行について説明があり、審議の結果、技術レポートとして当専門部会で、メール審議することが決議された。審議の要点は以下の通り。
 - ・附属書（参考）には個々の方法論、考え方が書かれており、「参考」ではあっても標準の一部であると考えられることから、英訳版においては、日本語の標準の一部を切り離れた状態にある。このため、標準ではない技術レポートとして上程する。
 - ・有償の技術レポートとして取り扱う。

- ・タイトルについて「Reference Translation of（参考訳）」は削除し、本文を英訳したものであることを前文の適切な箇所に記載する。

2) 【報告】分科会の活動状況について（ATC42-4）

各分科会の代表者から ATC42-4 に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

（担当：放射線遮蔽分科会：坂本委員，廃止措置分科会：田中委員，シミュレーションの信頼性分科会：田中（正）委員，放出源の有効高さ評価分科会：伊藤委員）

“放射線遮蔽分科会”

- ・放射線工学主催，放射線遮蔽分科会共催で1月21日に放射線遮蔽設計法に係るワークショップを開催した。遮蔽コンクリートの標準組成に関する検討を建築学会と共同で行っている。

主な質疑は以下。

Q: γ 線ビルドアップ係数標準の英語化は怎么样了。

A: 許諾手続きをもらうのに全文の見直しを行った。

C: 分科会は委員の倫理教育を実施するためにも，年1回は開催するように。

“廃止措置分科会”

- ・審議を進めてきた2つの標準原案“原子力施設の廃止措置の基本安全原則”及び“実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画”について，3月2日から4月2日にかけて書面審査を行う。

主な質疑は以下。

C: 廃止措置分科会が行う書面審査は本報告を前提としたものであろうが，廃止措置分科会が行ってきた中間報告は，今般の他の分科会が行っているような原案を提示する形式をとってきていないため，中間報告の位置づけとなる。

A: 分科会で審議中のものについて，ご意見をいただくという点では実質的には違いはない。位置づけや進め方はご指示に従う。

C: 上程してくるものは，なるべく早く提示してほしい。内容の確認のため，1ヶ月程度前には提出してほしい。

A: そのようにできるようスケジュール調整を行う。

“シミュレーションの信頼性分科会”

- ・特段の質疑はなかった。

“放出源の有効高さ評価分科会”

- ・活動状況の追加はなし。分科会統合に伴い記載適正化を行った。

3) 【報告・審議】5カ年計画の改定について（ATC42-5, 7, 8）

（担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 堺幹事）

堺幹事から ATC42-5 に基づき，標準委員会の標準策定5カ年計画の更新について説明があった。基本戦略タスクからのコメントについて説明があり，一部修正して次回標準委員会に報告することとなった。（最終版について，次回専門部会にて承認を行う）また，新知見の反映に関する学会アンケートの結果が参考に配布された。

4) 【報告】倫理教育状況について（ATC42-6）

（担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 堺幹事）

堺幹事から ATC42-6 に基づき，専門部会倫理教育実施状況，専門部会内の倫理教育実施状況等について報告があり，新任委員への教育の徹底，各分科会での積極的な討議の実施について依頼があった。

6. 今後の予定

次回は，追って調整することとなった。（5月28日（火）13:30～）

以上